

学校運営協議会議事録

校名	府立四條畷高等学校
校長名	平岡 香子

開催日時	令和8年7月6日(月)15:30～17:00
開催場所	大会議室(東館2F)
出席者(委員)	田中会長 梅田副会長 串田委員 河上委員 小野原委員 天野委員
出席者(学校)	平岡校長 浦井教頭 吉岡事務長 堀江首席 新井首席 中尾教諭 武井教諭 西岡教諭 若竹教諭 中瀬教諭 金教諭 藤板教諭 小嶋教諭 宮崎教諭 甲斐教諭
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度/令和8年度 学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等(次第順)	
1 運営協議会委員紹介 2 学校長および事務局長紹介 3 会長選出 4 報告 (1)保護者からの意見書 (2)今年度の畷高の様子 (3)「令和7年度学校経営計画及び学校評価」ならびに「令和8年度学校経営計画及び学校評価」について (4)教科書選定について (5)今年度の課題と取組について 5 協議 6 その他 次回協議会予定について	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
・生徒たちがAIを使う機会を具体的に知りたい。【委員】 →1年生の探究の授業でテーマ設定をする場面や、国語科での文章要約の添削目的で使用している。【教諭】 ・四條畷市(地域)との連携の例として具体例や結果はどのようなものか。【委員】 →クラブ活動等を中心に行っている。サッカー部をはじめ各クラブが小学生対象の体験教室を実施し、理科部も小学生向けのワクワク実験教室を実施しており好評を得ている。吹奏楽部は地域からの依頼を受けて演奏活動を行っている。【教諭】 ・昨年度のサンフランシスコ研修は教室掲示による周知のみ。各種研修について生徒だけではなく保護者へも周知してほしい。【委員】 →サンフランシスコ研修はほかの研修に比べて準備期間が短く周知が限定的になった。今年度の研修についての連絡は、さくら連絡網で配信しているので保護者にも届くようになっている。【校長】 ・GL部の発足から働き方改革に変化はあるか。【委員】 →探究活動を分掌で対応できるようになり、AIの活用も進めているため負担は軽減されている。【教諭】 ・文理の比率はどのくらいか。【委員】 →文:理はおおよそ1:2である。【教諭】 ・遅刻者増加について理由を知りたい。【委員】 →以前は起立性調節障がいを持つ生徒などの年に数十回遅刻する生徒は除外してカウントしていたが、デジタル化によりすべて算入するようになり、カウント方法が変わったことが理由の一つである。【教諭】 ・心の健康に関して校内でどのような支援が実施されているのか。【委員】 →教室掲示や担任からの連絡でSCにつなげるようにしている。【教諭】	
次回の会議日程	
日時	令和8年 11月予定
会場	大会議室(東館2F)